

道路、用排水路の地先管理を徹底して下さい！

組合員の所有及び耕作する農地に面する水路脇・道路端・畦・中畦等の除草、用排水路の泥上げを地権者若しくは耕作の方が**地先管理**する事となっておりますので、周囲の迷惑とならないよう日頃から管理を心がけてください。尚、連絡をしても管理がされない場所につきましては、分区分業者等で作業を行い、掛かった費用につきましては後日請求させて頂くこととなります。

地先管理をして頂く上で不明な点がございましたら、地先の分区分長または亀田郷土地改良区地域課に相談し管理して頂くようよろしくお願い致します。

***地先管理の範囲**とは 耕作する農地に面した用水路・排水路・畦・道路です。



亀田郷一斉清掃の開催

去る6月4日(日)午前9時から「亀田郷一斉清掃」が実施されました。

5年度の清掃活動は、新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類感染症に位置付けられた事により、コロナ以前と同様の作業を行うことが出来ました。当日は農家の方、各工区・分区分の役員、東日本高速道路(株)、亀田郷建設業協会、(株)新潟放送など主催・参加団体・協力団体の皆さん1,066人が全郷にわたり19班に分かれ、高速道路沿線や水路、農道のゴミ拾いを行いました。

収集されたゴミは、一般ゴミが3.4トン(うち可燃ゴミ2.3トン、不燃ゴミ1.1トン)、粗大ゴミがタイヤ104本、テレビ7台、冷蔵庫7台、自転車6台など処理費に40万円を要しました。これを新潟市、東日本高速道路(株)、(株)新潟放送と土地改良区の4者で負担しました。

不法投棄のない地域を目指すべく地域住民の皆さま、そして引き続き組合員皆さまのご協力をお願いします。参加された皆さま、大変お疲れ様でした。この紙面を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



佐野藤三郎生誕100年記念事業『亀田郷農業・未来プロジェクト』

(1面から続く)当日は、北陸農政局・新潟県・新潟市・農協・県土連からの来賓、土地改良区役員総代分区分長など総勢164名の皆様から参加いただきました。

杉本理事長が開会あいさつで、米の作付けを減らして小麦に転換すれば農家所得が上がり、後継者が確保される。それには大区画圃場の整備が急がれると問題提起しました。

基調講演は、新潟大学伊藤名誉教授から佐野藤三郎さんの足跡とこれからの亀田郷農業への期待、農林水産省北陸農政局新潟県拠点の福井地方参事官は、いま進められている「食料・農業・農村基本法の見直し」から見た小麦の国産化の推進、同じく北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所の福田所長は、持続可能な経営体を育成するため農地の集積に加え継続的に集約化を進めて行くことが必要と話がありました。



その後6名の方から亀田郷農業への提言を頂きました。

個別経営で稲作を大規模に展開する大江山区の池田総代は、農業は命を守る魅力ある産業で、次の世代に託せる産業にしたい。農事組合法人カミハヤの鷺尾代表理事からは、今年初めて小麦を作付けしたが、米に比べ水回りも無いため作業が楽で、新潟市平均を大きく上回る10アール当たり416キログラムの収穫があった。売上増とコストダウンには、地域一丸となった中間管理機構の利用と基盤整備が必要。丸榮製粉株式会社大谷取締役部長は、県内の小麦生産は昨年150トン、今年は300トン強になる。地域の気候に合った品種があればさらに生産量は増える。新潟市三阪農林水産部長は、物流2024年問題から見た亀田郷の優位性を生かして、土地利用型農業に合った麦・大豆・園芸に情熱を持って挑戦し、次世代に繋ぐために地区で検討いただきたい。新潟県窪田農林水産部長は多様な人材が夢を持って就農・就業できる経営体の育成と地域づくりにソフトハード面で支援していきたい。最後に新潟県登り農地部長からは、今後の基幹的農業従事者の年齢構成を問題視している。対応は若い人に入ってもらうことと少ない人数でやれる体制を作ること。農地が点在してはコストが下がらない。中間管理機構を利用することで集約化が進み、稲作労働の27パーセントを占める水管理をスマートフォンで操作する自動給水栓設置で大幅に削減できる。とそれぞれの皆様から今後の亀田郷農業に対する貴重な意見を頂きました。



最後に田中副理事長が、本日のお礼と皆さんの提言を生かしながら亀田郷農業を前進させていきたいと述べられシンポジウムは閉会しました。

その後の意見交換会では、缶ビール片手に地元の枝豆、トウモロコシ、キュウリ・茄子漬け、トマトで来賓の皆様と参加者が意見を交わし、有意義な時間となりました。

短 信	4月 20日	監事会	23日	監事会	7日	工事入札
	〃	月例監査	〃	〃	9日~10日	新潟市土地基盤整備促進協議会 北陸農政局提案要望
	24日	事業部会	28日	水利調整委員会	18日	水利調整委員会
	26日	水利調整委員会	〃	〃	24日	月例監査
	5月 18日	総務部会	30日	工事入札	25日	環境水利活用促進部会
	〃	理事会	7月 5日	理事会	30日	新潟市土地基盤整備促進協議会 農林水産省・財務省提案要望
	24日	水利調整委員会	14日	臨時総代会(決算)	9月 7日	花角新潟県知事 亀田郷視察
	30日	親松排水機場運営委員会	25日~27日	中東蒲原土地改良協議会 視察研修(京都)	7日~8日	職員研修旅行(北海道)
	〃	管内事業説明会	28日	水利調整委員会	25日	理事会
	6月 7日	事業部会	31日	工区長会議		
	16日	工区長会議	8月 1日	佐野藤三郎生誕100年記念事業 亀田郷農業・未来プロジェクト		
	19日	総務部会				
21日	理事会					